

2017.  
Spring  
Summer

株式会社西村交益社  
つるぎ会館カード会員情報誌



wadachi

わ  
だ  
ち

Volume.3



豊岡総合高校 写真部  
山根海地 君

知識を得ることの“喜び”  
 美味しい料理や素晴らしい体験することの“欲び”  
 そして…それがささやかながらも地域経済に貢献することの“悦び”  
 そんな“よろこび”を皆様にお伝えすることができればと、作成した「わだち」です。  
 この「わだち」を通じて、  
 会員の皆様とのご縁と協力店の皆様とのご縁が、どんどん繋がることを夢見ています。

2017 年初夏間近に  
 (株)西村交益社  
 代表取締役 西村正司

Volume.3

# わだち

株式会社西村交益社  
 つるぎ会館カード会員情報誌



撮影：  
 豊岡総合高校 写真部  
 山根海地 君

## 「職人回帰」

会って、話して

見て、納得

3

料理人・中庭哲也／風和里  
 家具職人・草分みのる／アウゲ  
 豊職人・正垣克浩／たみや正垣  
 表札職人・由路智／トージエ芸  
 資格探訪 葬祭ディレクター

玩具博物館の窓から

9

ブラジル滞在記

11

おすすめワインと本

13

おしえて戌亥先生

15

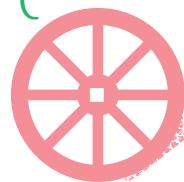
〇わかり経済学

17

協力店ショッピングガイド

19

もくじ



wadachi

2017.  
 Spring  
 Summer

## 「わだち」に込めた思い。

(株)西村交益社つるぎ会館 わだち編集室

ある日、会館を訪ねて来られたご夫婦。「自分達の葬儀の事を相談しておきたい」との事でした。ご主人が困難な病氣と闘っておられる事、二人の娘さんは、それぞれ嫁がれて、遠くに住まいであること・・・など、「ご事情をお聞きしてからプランの内容や式の流れ、費用など提案しました。」

話が終わり、コーヒーをお出しすると、「よしっ、これで終(しま)いは、決めた。あとはこれからどう精一杯生きるか。コーヒーが特別美味しく感じるわ。」とおっしゃいました。

そのことがずっと胸の奥にあり、当社にその「これからの人生」を少しでもサポートできる事がないかとの思いから、会員カードを作ったのです。まだまだ発展途上ではありますが、もつとお得で便利なカードにしていきたいと思っております。

「わだち」は、車の通ったあとに残る車輪の跡の事です。古代ローマ遺跡を旅した時、何千年も昔の馬車の跡がくつきりと残っていました。会員の皆様が進んでこられた、尊い人生がそこに重なるように思います。

つるぎ会員情報誌の名前を「わだち」にしたのはその思いがあったからです。

「今日という日は、残りの人生の第一日目である」

私達のこの「わだち」が少しでもお役にたてることを願って。





「季節感が何よりのご馳走」

中庭哲也

# 料理人



**里山懐石**

「料理を召し上げる数時間の中で、お客様が感動を覚えて下されば、こんな嬉しいことはありません。」季節を五感で感じて頂くには、より旬の物を、手間を惜しまず作ります。また、店の作り、設え、サービス、器、音楽に至るまで、気配り目配りをし、季節を演出します。」

和食をやる意味をずっと問い続けてきた。京都を中心に三十三年、懐石の経験を積み「五十歳になったら田舎で店を」という夢を叶え、更にこのころと技と感覚に磨きをかける料理人です。

器の中に季節があり、物語がある



純米酒



丹波篠山 里山懐石と純米酒  
**風和里**

兵庫県篠山市垣屋 477-1  
☎FAX.079-593-1655

完全予約制 不定休  
昼懐石 5,000円/3,500円 11:30~16:00  
夜懐石 9,000円/7,000円 18:00~22:00



巷では「日本はものづくり大国から凋落した。」とか「日本から職人がいなくなる。」とか・・・  
ホントかな？

## 「職人回帰」

会って  
話して  
見て  
納得！

今どきの職人さん、ステキです。  
カードを持って、大人の社会見学しませんか？



ユネスコ無形文化遺産に登録された日本食ですが、最も重要なのが「だし」です。そのうまみ成分は、それぞれ特徴があり、その組み合わせの相乗効果は、日本料理の真髄と言えます。その旨味とも、わさび、山椒、柚子、生姜、唐辛子などの和風調味料との相性も良く、美味しさを損なうことが無いのが「純米酒」です。大将とかみさん二人ともが「よし」としたものをすすめています。



CARD

ご利用後、会員カード掲示で、  
優待特典！ 昼懐石 3,500円コース無料優待券を進呈します。(お一人様一枚)

四季折々の自然に恵まれた静かな里山の田舎家です。滋味ゆたかな旬の素材をいかしたはんなりとしたお料理と選りすぐりの純米酒をご用意しておまちしています。ミシュランガイド掲載店！



「歪みの見極め」

正垣克浩

# 畳職人

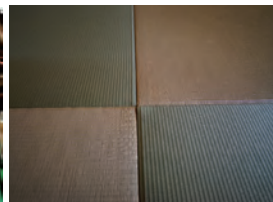


畳は、世界に類がない日本固有の文化。古代、身分の高い人を家に迎えるときに、板の間に敷いた、筵(むしろ)を、たたみ重ねておくことからその名がつけました。その歴史は、「古事記」にまでさかのぼります。

畳の香りは心癒されます。あの香りに包まれながら、ごろりと寝転ぶ心地よさ…調湿性・抗菌性・防音性・弾力性にも優れ、夏涼しく、冬暖かで、日本の気候にマッチしたスグレモノです。又、表替え・裏返しと、メンテナンスの仕方でも何年もその良さを持続できます。

「建築のスタイルでフローリングの部屋が増えても、畳の部屋がゼロになることはありません。だからこそ、ひとつひとつ丁寧に作ります。」

人ひとりより大きい畳のサイズですが、実は新築の現場でさえも、五厘(0.5mm)の調整が必要なんです。部屋の歪みまで計算に入れて、ピッタリ畳を収められるかどうかは畳職人の腕の見せどころなのです。



たたみや 正垣

兵庫県養父市十二所 317  
☎079-664-0401

CARD

優待特典！

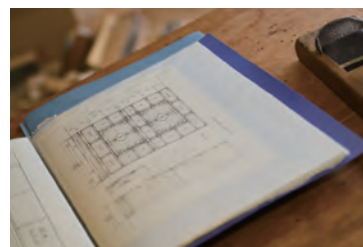
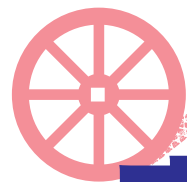
畳の新調・表替え・裏返し、全て5%引き  
(新調の場合は+古畳無料処分)

ウソのつけない職人の店。一枚一枚丁寧に作ります。デザイン畳にも定評があります。お気軽にお申し付けください。

変幻自在

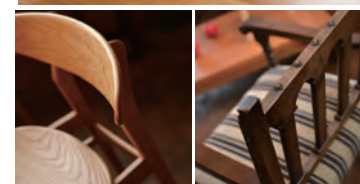
草分みのる

# 家具職人



その図面は  
まるで一枚の絵のよう。

打ち合わせをし、書かれた「図面」は美しい絵でした。最低限のサイズは書きこんでありますが、お客様とのコミュニケーションで家具を作るので、これでよいのだとか。イメージが伝わりやすく、完成が待ち遠しくなる様な「図面」です。



「ケヤキ(樺)」のイメージが大きく変わる  
専門の学校を卒業後、欧風家具の老舗、神戸「永田家具工芸」で修行を積み、「家具工房アウゲ」を始めた。城崎の工房に並ぶ家具を「一言で」表すのは難しい。依頼の数だけ家具がある。「飾り」ではなく「使つもの」を。長く、次の代にも力を発揮してくれるものを。そんなモノづくりをしている家具職人です。



こだわりの中の柔軟さ

ダイナミック、自由、斬新、クラシック、和モダン…要望に応じて作ります。一貫しているのは、全て手仕事ということ。世界で一つだけの家具。金具、ガラス、布、皮…木以外の素材も、ひとつひとつ作品にあわせたオリジナルです。



<http://artwood-auge.com>

家具工房 アウゲ

兵庫県豊岡市小島 1001  
☎0796-28-3621

e-mail [info@artwood-auge.com](mailto:info@artwood-auge.com)

CARD

優待特典！

オーダーいただいた方に、  
手作りガラス3点セットをプレゼント。



無垢材で作った家具や厨子(仏だん)の美しさに見とれてしまします。和とモダンをダイナミックにデザインした全て一点ものです。



日本の仕事 資格探訪

# 葬祭 ディレクター

さらに法要で、  
香典返しの手配の  
ほか、仏壇や墓地  
の相談、保険の相  
談や手続の代行な  
ども行います。



お客様に満足と納得のいくお別れをして頂くために、(株)西村交益社では、社員全員がディレクター資格を取得しています。新入社員は2年の実務を経て、試験にチャレンジします



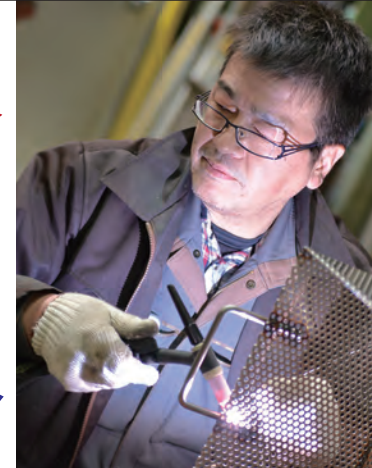
お葬儀は三日間戦争と言われるそうです。その日は突然にやってきて、あつという間に終わるからです。葬祭ディレクターには、お葬儀に関わる全ての事を、段取りよくスムーズに行うことが求められます。

おもな仕事は、葬儀の企画・会場設営、儀式の運営・司会・進行・予算の相談、書類の届け出などの手続き代行。

お葬儀は時代の流れもあり、家族葬やお身内葬、一般葬、社葬・団体葬など多様な規模があります。また、仏教形式、キリスト教形式、神式、または無宗教形式など形式もさまざまです。ディレクターは、さまざまな様式を理解し、準備・運営に当たります。



# wadachi 融合 田路智 表札職人

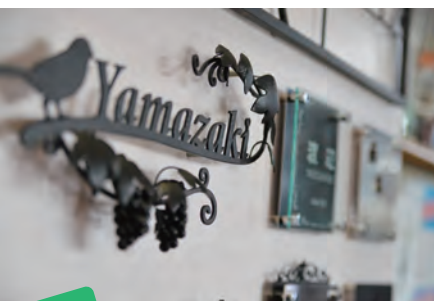


## 看板屋さんだけど



日本全国には約7000、10000社の看板屋さんがいますが、この「壁に恐竜がいる看板屋さん」は、かなりのスゴ腕集団。とりわけ社長の田路智さんの作る、アイアン(鉄)表札は、かなりカッコいい。「表札? 看板屋さんが?」と思うかもしれませんが、個々の家の看板と考えると不思議ではないかもしれません。

職人の手で鉄を熱して、曲げたり叩いたりして造る鉄製の表札は、どれをとっても常識にとらわれない発想の、アート作品のようでもあります。コンピュータ制御の機械で作るシャープでモダンな表札はキラリとして、ステンレスや真鍮とよく合います。型を抜き終わった後もステキだったりします。



<http://www.hyosatsu-studio.com>

トージ工芸 表札屋

CARD

優待特典! ご注文の方に、ふるさとゆるキャラグッズプレゼント。

看板屋さんの表札って!?・・・それがオシャレなんです。ステキなんです。結婚や新築のお祝いにも喜ばれています。

兵庫県養父市小城 555  
☎079-664-2000

営/8:30~17:30 定休/土(不定期)、日、祝



尾崎 織女 (おさきあやめ)

日本玩具博物館学芸員 / 日本セタ文化研究会会員

ひと月遅れのセタ生まれで、織女星より名前をいただく。

1985年神戸大学卒業後、(財)海外子女教育振興財団勤務を経て、1990年より日本玩具博物館(姫路市香寺町)の学芸員として、世界の玩具や人形の収集、調査研究、展示普及活動に携わっている。専門は、節句をとりまく子ども文化で、桃の節句の雛飾り、端午の節句の武者飾り、セタの飾りなどを追いかけている。

# ◇初夏の特別展 端午の節句～江戸から昭和の甲冑飾り～

2017年4月15日(土)～5月28日(日)

甲冑飾りの造形をテーマに、幕末から明治・大正・昭和時代へと伝えられた資料を集め、時代を追って展示する。展示総数約30組。



端午の甲冑飾り(京阪地方／幕末期)

# ◇春の企画展 なつかしの人形～昭和時代の人形遊び～

2017年3月4日(土)～6月27日(火)

昭和時代を彩ったセルロイドのミルク飲み人形、ぬいぐるみの文化人形、着せ替え人形、リカちゃん、ジェニーなど、子どもの心を豊かに育んだ人形遊びの世界を紹介する。展示総数約350点。



昭和時代の人形たち

## 日本玩具博物館 JAPAN TOY MUSEUM



〒679-2143  
兵庫県姫路市香寺町中仁野 671-3  
TEL.079-232-4388

■開館時間  
10:00～17:00  
■休館日  
水曜日、年末年始  
但し、水曜日が祝日の場合は開館  
■入館料  
一般 600円 / 学生 400円  
こども(4歳以上中学生まで) 200円

<http://www.japan-toy-museum.org>

## 玩具博物館の窓から



### 人形を“偏愛する”日本人

十七、八年前、日本玩具博物館は、韓国全州にある製紙文化をテーマとした、ハンソル紙の博物館からの要請を受けて、同館の特別展「アジアの紙人形」に、アジア各国の張り子人形、約三百点を出品協力したことがありました。

展示会の開催に当たり、資料調査に来館された紙の博物館の学芸員K氏は、木や土、張り子や布など、様々な素材で作られた日本の郷土人形を前に、「日本人はどうしてこんなに人形が好きなのでしょう？」と、目を丸くされました。確かに、アジアの国々と比較してみても、日本人の人形の種類の豊富さは群を抜いています。素朴なものから美術工芸品、信仰的なものから愛玩用まで、様々な性格の人形をもち、桃の節句ともなれば大々的に人形をまつる日本人を、欧米の人々は、人形を偏愛する民族と評します。

人形は持ち主の災厄を肩代わりしてくれるもの——日本人はすでに平安時代の頃から人形をそのようにとらえていたようです。江戸時代に入ると、日本各地で人形が作られ始めます。香川県高松市には、お姫様の病気を我が身に移しとり、身代わりとなつて離れ小島に流れていったお城勤めの少女を題材とした張り子人形「奉公さん」が伝わります。高松では、昭和30年代頃まで、子どもが熱病に罹ると、「奉公さん」を求め、一夜、病児に抱かせたのちに海へ流しました。そうすることで病気が治ると信じられていたからです。また、関西の町々では昭和初期頃まで、子どもが誕生すると市松人形を一体求め、大切に飾りおく習慣がありました。その子が災厄に襲われた時には市松人形が肩代わりしてくれると考えられたためです。人形は持ち主を守ってくれるもの——合理精神が世の中を覆う現代にあっても、私たちは心のどこかでそのように感じているのではないのでしょうか。

一方、韓国では、祭礼などに登場した人形や仮面にあっても、儀式が終わると必ず火に焼かれ、古い時代の人形はほとんど遺されていません。紙の博物館のK氏は、その理由について、目鼻のある造形物を傍におくと、その目から鬼神が入り込み、持ち主に危害が及ぶことを人々が畏れたためだと話されました。近年、若い世代は人形を恐れなくなつたようですが、遠い昔から韓国の人々は人形に一種、鬼神的な性格を感じ、畏怖の感情を抱き続けてきたといつのです。それだから、日本人が友好の証に美しい衣装の日本人形を贈ったとして、その相手が高齢の韓国人なら、送り主の好意を頭では理解しながら、人形の恐ろしさに震え、あわてて蔵の中へ収めてしまつのです。目鼻のあるものに靈魂が宿るという感じ方は日本も韓国も同じものといえるでしょう。けれど、人形に忍び込む鬼神を畏れるために意識して人形を遠ざけた韓国人と、人形が持つ靈力を頼みとして人形に親しんできた日本人——隣国にありながら、真逆ともいえる人形観を育てたそれぞれの精神文化に興味を覚えます。いつか、私たちの人形観をテーマに展示会を開けたらと企画を温めている最中にあります。



# ブラジル滞在記

## 離れてはじめて見える日本

毎年三月には、本山での報告会議があつて一時帰国します。往路復路ともに、中東のドバイを経由するので、片道約三十時間。サンパウロ空港からドバイ空港までが十四時間、乗り継ぎの待ち時間、最短で三時間半。そこから関西空港までが九時間。尻が笑つてしまうほど長い旅路です。真夏のブラジルから帰国すると、季節が真逆で、日本は物凄く寒い。しかし無事に帰国した安心感からか、空港の喫煙ルームでの一本が旨い。

迎えにきてくれた家内と三男夫婦、以前なら「久しぶりやね。」と言つところだが、インターネットのお陰で、ほぼ毎日連絡を取つていて、出合いの感激は少ない時代です。サンパウロ空港の到着ロビーでは、入国手続きを終えてロビーに現れると、待つていた家族がひつしと抱き合う。泣いている人も多い。面白いほどに全員がそうするのですが、アジア人は割とあっさり済ませます。日本人とて同じ。私も、ブラジルに帰った時に迎えの人達と抱き合うことはなかったが、最近では、抱き合う様になりました。自分でもよくわからないが、少々？ブラジル人になったのかもしれない。特に泣く必要もないので、笑顔でハグ「TUDO BEM? (トッドベン)」と言えはいいのです。性別とは関係ないと思いますが、女性には頬を合わせて、互いに「CHU」と音を発します。それは挨拶なのだから、恋愛感情などありもしないのに、若くて綺麗な女性とは、一瞬、妙な感情が湧くものです。それを不純だと言つて欲しくない。でも、単に頬と頬がぶつかっただけにしたくない。そんな、密やかな

男の浪漫なのです。

さて、三十時間も拘束されて、ようやく解放された時には、すでに尻が痛くて、そのまま迎えの車には、乗りたくないのです。そこで、関西空港の傍らのホテルに泊まる事になっています。そして食事に出かけるのが楽しみ。寒いから熱燗もいい。日本酒は長く呑んでいない。三男が「どこでもいいか?」と尋ねるから「もちろん、どこでもいい。」と答えると連れて行つてくれた先は寿司屋さん。「おお、寿司か。ええなあ」意気込んで暖簾をくぐると、にぎり寿司を乗せた皿が店内を巡回していました。「まあ、これも寿司司だよ・・・」熱燗の二合徳利の首をつまみ上げ、帰国初日の夜が更けて行きました。

日本に帰つて、宴会の度に皆が言つのは「やっぱり日本はいいでしょう。」その通りです。いい国です。安全だし食べ物も旨いし。でも何故でしょう、年間の自死者が三万人もいるのは。ブラジルは、日本ほど豊かでもないのに自死者は、ほんのわずかです。治安が悪く、殺される人の数は、日本の自死者の数と同じで、九分間に一人が殺されているといえます。でも、明るく情熱的な人達です。帰国して一番気になること。例えば、大阪駅の中央出口付近にいますと、電車が到着する度に大勢の人達が改札の出口から大波の様に現れます。誰もが仮面を着けたような顔ばかり。無表情のお化けみたいに感じます。日本人の顔はそういう顔なのでしょう。外国人からすれば不気味な顔ですよ。何を考えているのかわからない顔。ブラジルの多くの女性達は、歩きながらもほのかに微笑んだ顔をしています。たとえ貧しさのなかにあつても、顔は幸せを表すという事でしょう。男達が飲み屋に入つてくる時には、見知らぬ先客にも笑顔で「TUDO BEM?」と言つて、全員と握手してから自分の席に着きます。日本人の私には面倒臭い事なのですが、それがブラジルの挨拶であり、AMIGO (アミーゴ) の始まりです。他人には関与しない日本の居酒屋では、まず無いことですね。

第一級の経済国家として発展してきた日本社会は、結局冷たい人間関係を創り出し、自死者の死を労ることなく、本来持つべき微笑みすらも失つて、無表情な仮面で顔を隠してしまつた気がします。こんな人達に幸せな国が創れるのだらうか。寝不足の勢いかどうか、割と早く酔いが回つて、「誰もが手を出さないうまま干からびてしまつた、目の前をクルクル回る皿に乗った寿司のような人生にはなりたくないなあ」と思つた夜でした。



高野山真言宗高照寺(花の寺)  
住職

密祐快(みつゆうかい)

花の寺の「花説法」は有名で、毎年訪れるファンも多い。若かりし頃、中南米を放浪。その内2年間をグアテマラのインディオたちと暮らし、紡ぎと原始機を習得する。帰国後、現代美術作家として各地で個展等を開催。(2015年からは製作活動は休止)現在、高野山の命を受け南米開教区総監として、本山別院のあるブラジルに赴任中。

高野山真言宗高照寺

兵庫県養父市八鹿町高柳  
1156  
tel.079-662-2865



ドク  
これ読!! 本の水先案内人

井戸書店

森 忠延(もりただのぶ)

1961(昭和36)年大阪市生まれ。サラリーマン生活の後、1993年に女房の実家の本屋である、神戸・須磨の井戸書店の三代目となり、本屋稼業を続ける。趣味は読書、落語。

井戸書店

兵庫県神戸市須磨区  
板宿駅前商店街  
tel.078-732-0726

# Recommend Books

## 木のいのち 木のころ 天・地・人



木のいのちの深さに触れる旅を一生涯つづけた法隆寺大工棟梁

西岡常一・小川三夫・塩野米松 著

新潮文庫

本体価格 890 円

法隆寺の宮大工の3代目として生まれ、幼少の頃から祖父に英才教育を受け、口伝を一つずつ、意味もわからずに暗唱し、砥ぎの作業は体で覚えるまでやらされました。小学校卒業後、本来なら工業学校へ父は通わせなかったが、祖父の厳命で農学校へ入学。宮大工の扱う木のことを知るには土壌を知らなければならないので、農学校で基礎を積んだことになります。

棟梁となって、法隆寺の昭和の大修理、法輪寺三重塔、薬師寺大伽藍の再建に立ち向かい、飛鳥白鳳建築の工法を理解することになり、先人の「手の記憶」である知恵を1300年を超える時空で甦らせました。大自然が生み育てた生き物である「木を生かす。無駄にしない。癖をいいほうに使う。」という自然観は、自然から離れてしまった現代人には学ぶべきところが多い。

木造建築の話に留まらず、一癖二癖ある職人をまとめる棟梁の言葉には組織論や人材育成にまで及んでいます。

「ワインの栓をあける」ということは、ワインが空気に触れ、酸化が進行するということです。開栓後、味の変化の急激なもの(劣化の早いもの)もあれば、遅いものもあります。つまり、開けたらなるべく早く飲んだほうが良いもの、ゆっくり飲んでも美味しく楽しめるものなど、色々なタイプがあるのです。しかもワインの中には、飲む〇時間前に開けておかなければならない!と決められているものもあります。一般にはボルドーの高級ワインなどを飲む時に言われることなのですが、実は、そのような飲み方をした方が美味しいワインはたくさんあります。赤ワインをよく飲まれる方は、こんな経験がありませんか。一杯目を飲んだ時、「うん、こんなもんかな」と思いながら飲み、飲みながらおしゃべりやテレビに夢中になり、いつしかワインは最後の一杯。さあ、このワイン、片付けてしまおう、と飲んでみてびっくり。「あれ、このワイン!こんなにおいしかったつけ?」

ある営業の方から、ワインのサンプルをいただいたときのこと。確かオーストラリア産の1,000円前後のワインだったのですが、たいして厚みも重さも感じられないのに、渋味と苦味だけが突出した、バランスの酷いワインでした。とりあえず一口以上は口にする気になれず、試飲コーナーに置いておきました。その後2日目、3日目と試飲したのですが、やはり渋味と苦味ばかりのワインで、そのうち試飲することもなくなり、捨てるのを面倒に思っているだけの状態に。2週間ほど過ぎた頃「まだこのワイン捨ててなかったのか、もういいかげんに捨てない」と、ようやくこのワインのことを思い出したのです。ワインを捨てる時は、どのような味になっているのか、必ずチェックするようにしています。(劣化したワインの味を覚えるのも大事な勉強なのです。)香りは、やや劣化や酸化の進行を思わせるものの、意外なほど健全な状態。おやつ、と思いつつ口に含んでみてびっくり。「おつ、おいしいっ!」渋味や苦味はなく、なめらかかつまろやか、熟した果実、コーヒータンやチョコレートを思わせる凝縮した味わいのある、バランスの良いワインに変身していたのです。

その日はこのワインを多くのお客様に味見してもらい、そのエピソードで盛り上がりました。そして捨てられることなく、最後の一滴まで、美味しく私たちを楽しませてくれました。

このワイン、結局仕入れませんでした。「開栓後、1週間から2週間お待ち下さい」というようなアドバイスはできませんからね...

## 栓をあけるということは...

※写真はイメージです



CARD  
優待特典!

HP から又は店頭で 5%引き TEL/FAX 兼用 079-666-8606

(社)日本ソムリエ協会認定  
ワインアドバイザーのワインショップ

K's Cellar

兵庫県朝来市山東町森 215 TEL.079-666-8606

送料は1~5本まで  
一個口で600円。  
\*6本セットで送料無料!  
(北海道・沖縄を除く)



<http://www.kscellar.com/>



# おしえて！戌亥先生

## ○お葬儀の時に、神棚に半紙を貼るのは何か意味があるのですか？

### 仏教と神道

現在のお葬儀の形式は、ほとんどが「仏教式」で施行されていますが、その形式の中でも様々な不思議があります。ご質問のように「なぜ半紙を貼る（結果をつくる）のか。」「仏壇も閉めるのか。」「なぜ清め塩が必要なのか。」「なぜ友引に葬儀をしないのか。」「等々。

ここでは、仏教と神道についてお話をしたいと思います。歴史的に見て、仏教が日本に伝えられたのは六世紀の半ばです。それ以前は、土着（民族宗教）の宗教として神道が存在していたのです。神道の教えは、この世で人間が不幸になるのは、人間の身体に不浄すなわち「穢れ（けがれ）」がついているからであるとしたのです。したがって、様々な穢れを取り除くために、神社では「祓い（はらい）」「禊ぎ（みそぎ）」が行われていました。この穢れは、精神的な心の穢れも含まれていますが、外面的には、死・殺人・出産・妊娠・月経・失火・血といったもので、これらを清めるためにさまざまな儀式が営まれてきたのです。中でも「死」とか「死体」といったものは、最も強い穢れと信じられ、それが生き残った人たちに不幸をもたらさないような配慮が大切であるとされてきました。

今でも日本の家庭には、仏壇と神棚の両方が安置されていますが、家族に不幸があった場合、その死の穢れが、神棚の中に入ることによって、家族にも死や不幸をもたらすのではないかとこの恐れから、神棚を閉じたり、半紙を貼ったりする習慣が生まれたのです。

また、死の穢れを祓うために清め塩を使うのは、神道の考え方です。なぜ塩なのか？日本は、四方を海に囲まれています。この水（塩）は海からの産物であり、海というのはすべての生命の源なので、そこに人は、強力な生命力を感じたのです。海から生まれた清浄な塩に穢れを祓い清める能力を託したのです。以上のような理由で葬儀の後で塩をまいたり、ふりかけたりしてきたのです。ただし浄土真宗では物質的なケガレというのは存

在しないという宗旨ですので、清め塩はしません。又最近では、一部の仏教各派も仏式のお葬儀を不浄としないという理由で、清め塩を使用しないようになってきています。

### 仏式葬儀の普及

六曜の友引に関しては、その日に葬儀を出す「友を死に誘う、死に引く」という迷信が生まれたのです。友引の本来の意味は、「相引で勝負なし」ということで、友引は、いわば語呂合わせの一種です。なんら気にすることはないのですが、この俗信は全国にひろがっています。その上、この日は火葬場や葬儀業者の休日になっているのが現状です。最近はお葬儀が多様化してきていますし、迷信などに負けない人々が増えてきていますので、そのうち迷信は社会から消えることになるかもしれません。

神道という民族宗教があった日本に仏教が入ってくると、摩擦が起こるのが常ですが、聖徳太子（蘇我氏）たちの努力によって、仏教が国教的存在になりました。そして普通なら、完全に葬りさらされる神道も同時に残したのです。それ以後、神道と仏教の並存が続きます。葬儀が初めて仏式で行われたのは、推古天皇の六十六一年。聖徳太子が亡くなったときで、僧侶が呼ばれて読経したと「日本書紀」にあります。仏式葬儀がひろく普及したのは、仏教が死は穢れでなく極楽浄土への旅路であるとの見解をし、日本人が共鳴したからです。誰も肉親が穢れと考えることはないからです。

現在では「僧侶は葬儀を扱うもの」があたりまえに思っていますが、もともと僧侶と葬儀とは深い関係になかったのです。僧侶と葬儀が深い関係になったのは、江戸時代に幕府がキリスト教排斥のために、「宗門人別帳」をつくり各家がどの宗教に属しているかを、厳しく監視するようになり、その結果できたのが「檀家制度」です。特に幕府は葬儀には必ず僧侶が指揮するよう命令を出しています。それ以後人々は先祖代々の供養をお願いするお寺を、菩提寺（檀那寺）として僧侶との関係を深くしてきたのです。



冠婚葬祭コンサルタント

戌亥 正三郎

関西テレビ・毎日放送でもお馴染み、業界第一線で活躍中の冠婚葬祭アドバイザー。

終活セミナー、エンディングノートの講師で、日本中を駆け回る超多忙な毎日。

また、日本のしきたりや食育の講演も多く、全国のセレモニーホールで新人研修にもあたる八面六臂の活躍ぶり。2009年3月より弊社顧問。



兵庫県立大学  
経営専門大学院 特任教授

丸山 博（まるやま ひろし）

中央大学法学部卒。経営コンサルタント・税理士。  
大手コンサル会社で修業の後、(有)第一コンサル  
ティング・オブ・ビジネス、税理士法人 Ido 設立。  
全国の中小企業家同友会において、経営指針成文  
化セミナーの講師を務める。弊社顧問。  
愛称まるちゃん。



# わかり経済学

## 「自由」と「規制」の経済学

今年は、アメリカの大統領にトランプ氏が就任して、次々と大統領令を出し、世界に衝激を与えています。そのひとつに「アメリカ・ファースト」を掲げた『保護貿易』の政策があると言われ、多くの経済学者や評論家が、『自由貿易』こそ、世界の経済にとって大切なのだとして、このトランプ氏の方針に警鐘を鳴らしています。しかしながら私たちは、『保護貿易』と『自由貿易』の功罪について正確に理解していると言えるでしょうか？本当に「規制」よりも「自由」のほうが良いと断言しても良いのでしょうか？

「そもそも論」について考えてみるのも良い機会ではないかと思い、ペンをとりました。

### 「比較優位の理論」

日本の経済学者のほとんどが「自由貿易」を支持するのは、デビッド・リカードの『比較優位の理論』を正しいものと信じているからだと思われます。

先進国 A と途上国 B があつたとして、A では 1 人 1 日で作物甲を 3 つ、製品乙を 6 つ作れる。B 国では作物甲を 3 つ、製品乙を 1 つ作れる。A のほうが B より甲も乙も多く作れる。しかし、A は製品乙だけを作り、B は作物甲だけを作るとすると、A と B と合わせると作物甲 6、製品乙 12 を作ることができ、A と B が個別に作つた場合（作物甲 6、製品乙

7）より多くを生み出すことができ、必要なものを輸出入で交換したほうが A と B とも幸せになれる、というものです。このとき B 国は作物甲について「絶対優位」ではないが「比較的優位」にある、と言つて。

比較優位の理論では、自由な貿易こそが両国にメリットとなりますが、実際にはそう簡単ではありません。比較優位の生産に完全に集中できるわけはなく、先進国の優位な製品が途上国の産業を壊滅させてしまうことも多いからです。また、一度優位に立つた国の製品は、その競争の原理から、より優位に立とうとし、いずれはその全てを支配するまでになっていくのです。これを「独占」と言います。地方都市に大規模な量販店やショッピングセンターが「自由」に出来てしまうと、地元の商店はほぼ全滅してしまつことは私たちが経験したところです。ある程度の「規制」によりバランスを得ることが重要なのです。

### 消費者の利益と産業の育成

貿易により自国の産業が壊滅することを防ぐために、各国は輸入品に対して「関税」を課して、守るべき産業を保護するのです。何を守り、何をオープンにするかは、その国が自主的に判断して、消費者の利益と産業の育成とを、バランスよくさせるよう調整をはかるのです。これは各国の主権として、認められなければなりません。

トランプ氏は米国の産業を保護することをこれまでよりも優先する政策に乗り出しました。自国で雇用をより多く生み出し、失業を改善するのに効果が期待されていますが、「急激な」対策は輸入材の値上げにつながり消費者の生活全般に影響が出ることも予想されます。また、景気に下押し圧力がかかるかもしれません。

「誰の、何の、利益を優先するか？」経済学の永遠のテーマでもあります。